

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 令和2年2月27日

事業所名 エンジェル園

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○	・二つのグループに分けて活動しています。	・現在移転建築中です。
	2 職員の配置数は適切である		○	・状況に応じて職員の配置を変えています。	・定員10名に対し5名の職員配置を配置しているが産休等で確実な体制にはならなかった。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	・パーテーション等を使用し構造化を図りながらわかり易い環境を整えられるように工夫しています。	・バリアフリー化はされていません。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・毎朝の清掃、消毒等丁寧に行って環境整備に努めています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・毎朝のミーティングや毎月の会議で確認し共通理解を図っています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			・保護者さんの意向については面談や研修会のアンケート等で伺っています。出来るだけ反映出来るよう努めています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			・平成29年度より実施しており、地域自立支援協議会において公表しています。 ・H30年度より法人のHPでの公表をしています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・第三者による外部評価は行っていません。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			・他事業所での実務研修を始め外部研修や法人研修で学ぶ機会を多く取り入れています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			・アセスメントを丁寧にしながら個別支援計画を作成していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			・Vinelandの学習会へ参加し取り入れていくところです。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・ミーティングや支援会議の中で検討しています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・STのアドバイスも入れながら活動内容を組み立てています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			・個別の活動と集団活動を個別に合わせて取り入れています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・朝のミーティングを行い確認しています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・療育終了後に記録を採る中で情報共有しています。	
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・療育記録を個別に記入し、保護者さんにも確認して頂いています。		

20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○	・相談員のモニタリングの他に6ヶ月毎に検討会を行い計画の見直しをしています。	
----	---------------------------------------	---	----------------------------------------	--

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達管理責任者が参加し関係機関も参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・関係機関とは顔の見える関係で連携しています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			・現在は該当はありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			・現在は該当はありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・担当者会議を開催し関係機関との連携を図っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・就学時研修会を開催し見学や相談等の調整をし就学前後に担当者会議で繋ぎをしています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・発達支援研修センターの研修会や学習会に参加し、地域支援マネジャーと連携しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		・併用しているお子さんが多いが事業所としては設けていません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・地域自立支援協議会子ども部会をはじめ各部会に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡帳や送迎時に状況を丁寧に伝え家庭での状況も聞き取っています。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		・事業所としては行っていないので、他の研修会を紹介しています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に保護者さんに説明しています。必要があれば随時説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・計画作成後には必ず保護者さんに説明し同意のサインを頂いている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			・送迎の際の相談が多く、丁寧に対応している職員間・管理者でも共有している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・保護者研修会に呼びかけ交流の機会を設けている。	・保護者さん向けのサロンを開催し好評だったので継続できるよう計画していきたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			・迅速に対応しており、今後も努力していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	・連絡帳や行事のお便りで連絡しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・運営規定に記載されており重要説明事項に入っています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			・今後も確認しながら努めていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・事業所単独はないが法人の行事には参加して頂いている。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○		各マニュアルは作成されてはいるが保護者さんへの周知がされていません。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			避難訓練は実施しているが保護者さんへの周知が行われていません。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・アセスメント時に保護者さんへの聞き取りをしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・アセスメント時に保護者さんへの聞き取りをしています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・記録を取り支援会議で検証し再発防止に努めています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・意識を高められるよう研修会等参加しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・マニュアルは作成されていますが該当児はいません。	